

Small Talk台本①（第2時・第4時のはじめ5分）

進め方（文科省の型）：帯活動として2時間に1回。5年は先生の話聞くことを中心に、相手を替えて1～2分×2回。1回目のあとに中間指導（下の「ことばの補給」）を挟む。なりきりではなく本当の気持ち・本当の出来事を話す。

話題1 先生のできること・できないこと（第2時）

板書：I can ～. I can't ～. [play the guitar / swim の絵カードを貼る]

T Hello! Look at this. (ギターを弾くジェスチャー) I can play the guitar!

こんにちは！見て。先生はギターがひけます！

T But... I can't swim. (泳ぐジェスチャー→手で大きくバツ) I can't swim!

でも…泳げません。ぜんぜん泳げないんです！

T Can you swim? Raise your hand if you can.

みんなは泳げる？泳げる人、手を上げて。

T Wow, so many! Great. And... can you ride a unicycle?

うわあ、こんなに！すごい。じゃあ…一輪車は乗れる？

S Yes, I can! / No, I can't.

（手をあげる、首をふるだけでも十分。まだ文で言わせなくてよい）

つまった子への助け舟：迷う子には絵カードを1枚見せて Yes? No? の2択に。首をふるだけでも OK! Thank you! と受けて、答え方に正解・不正解がないことを示す。

話題2 先生が「できるようになった」こと（第4時）

板書：Before: I can't ～. → Now: I can ～! [bike / swimming / cook の絵カードを貼る]

T Look. Me, six years old. (小さい自分の絵) I can't ride a bike. I can't!

見て。6さいの先生。自転車に乗れませんでした。ぜんぜん！

T I practiced... and practiced. And now? I can ride a bike!

練習して…練習して。それで今は？乗れます！

T Now, I can't play the guitar. But I want to try.

今できないのはギター。でも、やってみたいな。

T What can you do now? Something you couldn't do before! Pair talk!

みんなが「できるようになった」ことは？ペアで話してみよう。

S I can swim! / I can ride a unicycle now!

（I語＋ジェスチャーでも十分。「前はできなかった」が言えなくてOK）

つまった子への助け舟：思いつかない子には「なわとび・逆上がり・給食の片づけ・漢字」など教室で起きた成長を先生から出す。英語で言えなくても、日本語で拳がれば絵カードで I can ～. に翻訳して返す。



中間指導 1回目のあとに全体で（ことばの補給）

1回目のあとに全体で：「can と can't、聞き分けられた？」→ 先生が I can swim. / I can't swim. を続けて2回言い、ちがいを子どもに言わせる（can は弱く短く「クン」、can't は強くはっきり言って最後に息をピタッと止める）→ 全員で3回口ならし→2回目へ。

対話を続けることば 黒板横に掲示しておく

はじめる	Hello! / How are you?
くり返す	Soccer? Me, too!（あいての言葉をくり返す）
ひとこと感想	Nice! / Wow! / Really? / Good!
たしかめる	Pardon? / One more time, please.
さらに質問	How about you? / Why?
おわる	Thank you. / See you!

先生へ

- ・5年のSmall Talkは先生の話聞くことが中心。ペアの時間は1分×1回でも成立する。先生が話す量を削らないこと
- ・先生は必ず「できないこと」を先に1つ言う。できないと言える教室にしておかないと、can't がこの単元でいちばん言いにくい語になる
- ・話題2は「できるようになった自分」。can が技能の優劣ではなく成長のことばだと最初に決めておくと、can't が言いやすい教室になる（次単元U4で友だちの can を語るときに効く）